

常任委員会報告

総務民生常任委員会
(11月26日開催)

《調査事項》

(1) 大和区自治会館改修状況
について(現地調査)

①今までの経緯

大和区自治会館は、昭和53年12月に「大和福祉会館」として建設された。建物の構造・規模は、鉄筋コンクリート造・平屋建て、延べ面積は400㎡で、行政区再編時に自治会館として位置付けされた。

②今回の改修経緯

大和区自治会館は、昭和56年以前の建築物であり、新耐震基準でのチェックが必要であったため、平成24年度に耐震診断を実施。その結果、耐震性は確保されていると確認された。

だが、築30年以上経過しているため、内外装の劣化が顕著となってきたことから老朽化対策を行うとともに、自治会館としての機能の他に

災害時の避難所としての機能もあることから、バリアフリー対応及び非常用発電機対応設備を新設する改修を計画。

③工事概要

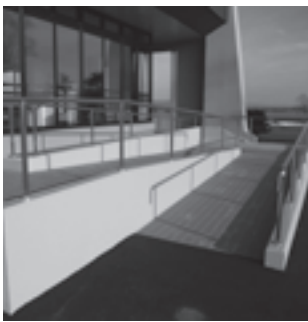
工期 平成26年6月17日～10月30日

受注者 有限会社角谷工務店
受注額 3780万円

主な工事内容

・バリアフリー対応↓外部スロープの新設、トイレの全面改修

・老朽化対策↓外壁塗装の塗替え、各部屋の壁のクロス貼替え、床材の更新、窓の改修
・非常用発電機対応設備↓商用電源から発電機への電源切換装置の設置、非常用照明スイッチ、非常用コンセントの配置



外部に新設されたスロープ

(2) 高齢者等見守り生活支援

事業の実施状況

全町展開への手がかりとすることを目的に平成25年度からモデル地区を指定し、当該地区での事業の管理運営及び評価を行い、施策を検証している。

モデル地区は、高齢化率の高い行政区のうち、市街地区ではみどり区、農村地区では花月区を指定。行政区、民生委員児童委員、介護事業所等の協力の下、見守り対象世帯(独居高齢者世帯、高齢者で構成されている世帯、高齢者と障がい者で構成されている世帯)からの自己申請を促すとともに、戸別訪問調査を実施した。その結果、みどり区では、見守りが必要とする世帯が2世帯、見守り推進員が2人。花月区では、見守りが必要とする5世帯、見守り推進員が3人となった。

見守り推進員の活動内容は、担当世帯に、最低週1回訪問し、生活状況の調査、必要な緊急対応、報告、定期記録報告等となっている。なお、見守り推進員に対して、報償費として、1世帯月額千円の商品券を支出している。

経済文教常任委員会
(11月25日開催)

《調査事項》

開拓記念館耐震補強及び改修工事の進捗状況について
(現地調査)

開拓記念館は、開基90周年を記念して建設されたもので、建物本体は昭和53年7月に着工し、翌年3月に竣工。展示物の整理を昭和54年度に行い、昭和55年8月1日に開館した。

建物は、鉄筋コンクリート造2階建て、延べ面積は857㎡となっている。

開拓記念館は、昭和56年以前の建物であることから、平成24年度に耐震診断したところ、1階ピロティ(柱のみ)で支える吹きさらしの空間部分で耐震性が不足していることが判明。また、築造後30年以上経過しているため、外壁や屋上防水の劣化と共に収蔵庫も手狭になってきたことから、耐震補強と併せて大規模改修を行うこととした。

工期 平成26年8月18日～12月22日
受注者 株式会社久保田組

受注額 4374万円。

主な工事内容

・1階部分↓ピロティの柱間に耐震壁4面を増設、コンクリートブロック造の壁3面とシャッター1か所の増設、収蔵庫のスペースの確保

・2階部分↓展示室床のビニールタイルの貼替え

・屋上部分↓ウレタン防水トッポコート塗

・外壁↓レンガタイルの補修
11月20日現在、工事の進捗状況は約75パーセントであり、順調に工事は進んでいる。

※開拓記念館は、耐震改修終了後も平成27年4月30日まで閉館します。



改修工事中の開拓記念館